

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 吉城高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月2日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 吉城高等学校会議室  
開催にあたり、委員による学校設定科目「地域プロジェクト学習」の授業参観を実施した
- 4 参加者
 

	会 長	沖畑	康子	元飛騨市教育長	
	副会長	桐山	吉衛	地域住民	
	委 員	都竹	淳也	飛騨市長	(欠席)
		石橋	祥二	NPO飛騨アカデミー 事務局長	
		見田	祐琴	地域住民(元本校育友会役員)	(欠席)
		早子	由美	地域住民(前本校育友会役員)	
		中村	健吾	飛騨青年会議所 理事長	(欠席)
		小枝	憲一	本校同窓会 副会長	(欠席)
		柚原	岳彦	本校育友会 会長	
		吉野	薫	本校育友会 女性部長	
	オブザーバー	布俣	正也	岐阜県議会議員	
	学 校 側	野中	賀雄	校長	
		足立	宏	教頭	
		原田	有紀子	事務長	
		井田	和実	教務主任	
		野中	剛志	生徒指導主事	
		中川	敬子	進路指導主事	
		山下	博巳	キャリア推進部長	
		水野	悠真	理数科主任	

## 5 会議の概要（協議事項）

### （1）令和8年度教育指導の重点及び学校経営計画及び各分掌の指導の重点等について

意見1：特に今年度の課題となる変更点は具体的に何か。

⇒ 令和8年度より学習者用タブレットPC（以後「タブレット」）が保護者負担となった。本校は授業等でタブレットを活用する場面が多いため、購入後商品が届く5月末まで、入学生がタブレットを学校活動で活用できないことが課題である。

意見2：本校は、地域課題解決型キャリア教育である学校設定教科目「ESD」を含む「吉高地域キラメキ（YCK）プロジェクト」の活動を通して、授業だけでなく主体的に地域へのボランティア活動（課外活動プログラム）を通して、生徒の課題解決能力と主体性をもって多様な人々と共同して学ぶ態度を育てているが、課外活動プログラムへの参加人数が減少している。理由についてどのように考えているか。

⇒ 在籍生徒数の減少に加え、様々な活動に対して主体的な参加に課題がみられる。申込期間以降も活動の意義等について教員から声掛けを行い、主体的に活動する生徒を育成する必要がある。

### （2）携帯電話の使用について

意見3：本校の生活指針では、「携帯電話の校舎内での使用はできない（必要な場合は許可を得て使用）」となっている。校内での携帯電話の使用条件が中学生の進学校選択の要因の一つにもなっていると周囲の保護者に聞いたが、今後、変更する予定はあるか。

⇒ 今年度、期間を決めて放課後の校内使用を試行するが、使用期間を1週間、使用時間帯を放課後だけと決定したのは生徒会である。今後の生活指針の変更については、必要があれば、教員主導でなく生徒会主体とした生徒主導で実施していく。

意見4：生徒会の自主性に任せ、生徒主体で生活指針等を考えていく方針を支持する。

## 6 会議のまとめ

- ・ 第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・ 学習者用タブレットの活用や、YCKプロジェクトの取組、生活指針の改定の方針等について、忌憚のない率直な意見や提案があり、今後の学校運営をともに考えていこうとする思いにあふれた大変有意義な会となった。各委員からの意見を踏まえ、今後はタブレット活用の推進やYCKプロジェクトの充実、生徒主体の学校づくりを一層進めていく。
- ・ 次回以降の学校運営協議会でも、各取組の進捗状況や各分掌の活動状況等を示し、各委員からの意見も反映させながら学校の運営をしていく方針を確認した。